

建コン協中部が 創立40周年祝う

建設コンサルタント協会（建コン協）中部支部（田部井伸夫支部長）は22日、名古屋市東区のメルパルクNAGOYAで創立40周年の記念式典を



開いた。会員ら約150人が出席し、節目の年を祝うとともに支部のいっそうの発展を誓い合った。

冒頭、田部井支部長は写真Ⅱが、1969年に発足した名古屋支部を前身とする中部支部のこれまでの歩みを振り返った上で、「コンパクトな都

市構造への転換や低炭素社会、循環型社会の構築に必要な新たな社会資本整備に向け、協会として技術の研究と研さんに努めていきたい」とあいさつした。

続いて、来賓の荒川光弘中部地方整備局副局長が「調査や設計業務が社会資本の質を担う最重要部で皆さんには大きな責務がある。私どもと対等のパートナーとして協力をお願いしたい」、川西寛愛知県建設部長が「公

共事業で良い現場を残すために発注者、施工者、コンサルタントの3者が良好な関係を結べるようなシステムをつくってきたい」とそれぞれ祝辞を述べた。

このあと、建設コンサルタント協会の廣谷彰彦会長が「40年もの長きにわたる歴史の中で、数多くの困難を克服された諸先輩方や関係者に感謝申し上げる。次は50年、100年と成長し続けてほしい」と話した。